

殿

骨材試験報告書

令和 年 月 日

工事名 _____

工事場所 _____

製品名 _____

福井市志比 2番14号

株式会社 福羽崎組





試験番号： A-25-5-0140-1
受付日： 令和 8 年 2 月 13 日

試験結果報告書

(骨材試験)

[並砂利(40~20)]

株式会社 羽崎組 殿

試験結果は、本報告書のとおりであることを証明します。

令和 8 年 4 月 1 日

JNLA 登録試験事業者
ベルテクス株式会社 試験分析センター
福井県鯖江市二丁掛町第7号6番地

TEL : 0778-62-1000 FAX : 0778-62-7723

発行責任者 センター長 小林 宏成

骨材試験結果一覧表

依頼者	会社名	株式会社 羽崎組
	所在地	福井県福井市志比口3丁目2番14号
依頼事項	試料採取日	令和8年2月13日
	試料採取場所	株式会社 羽崎組 森田工場
	試料採取者	酒井 利視
試料搬入日		令和8年2月13日
試験日		令和8年2月14日 ~ 令和8年3月31日

試験体種類	産地
粗骨材	並砂利(40~20) 九頭竜川水系 坂井市丸岡町

試験項目			試験結果
ふるい分け試験	JIS A 1102	粗粒率	7.99
微粒分量試験	JIS A 1103	微粒分損失質量 %	0.2
単位容積質量試験	JIS A 1104	単位容積質量 kg/l	1.69
		実積率 %	65.3
有機不純物試験	JIS A 1105	標準色に比較して	—
密度及び吸水率試験	JIS A 1109 JIS A 1110	表乾密度 g/cm ³	2.63
		絶乾密度 g/cm ³	2.59
		吸水率 %	1.41
すりへり試験	JIS A 1121	すりへり減量 %	13.7
安定性試験	JIS A 1122	安定性損失質量 %	1.7
粘土塊量試験	JIS A 1137	粘土塊量 %	0.00
骨材中の塩化物量試験	JIS A 5308	塩化物含有率 %	—
粒形判定実積率試験	JIS A 5005	粒形判定実積率 %	—
技術管理者		煤田 直也	
試験担当者		赤澤 駿介	

<試験実施場所> ベルテクス株式会社 試験分析センター 福井県鯖江市二丁掛町7号6番地

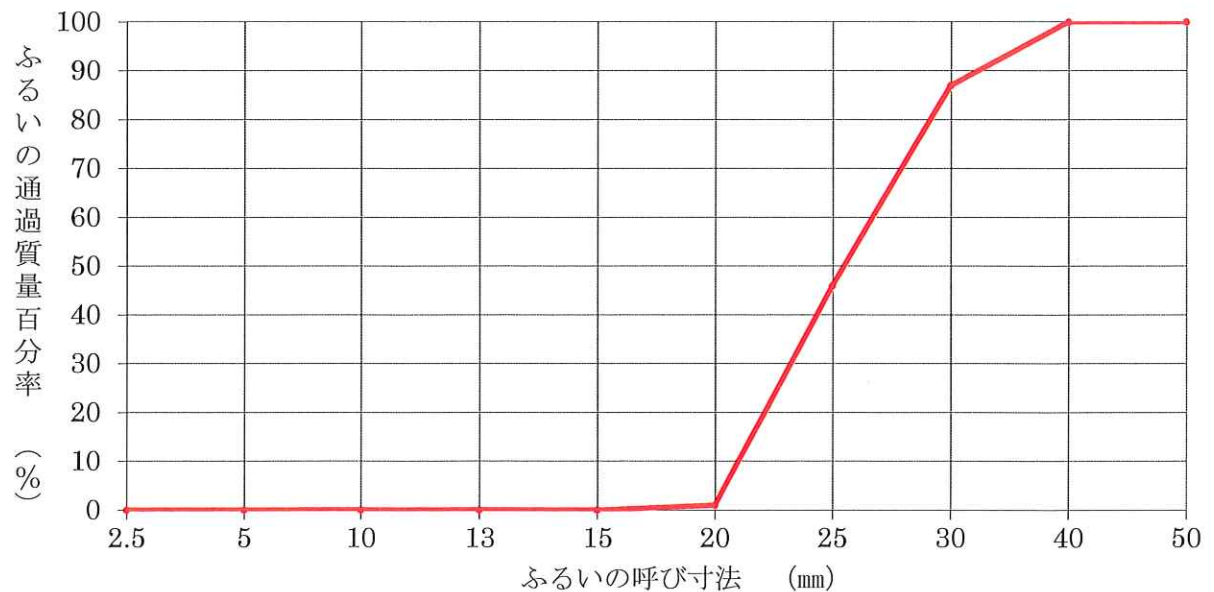
試験規格 JIS A 1102

骨材のふるい分け試験 (粗骨材)

試験担当者： 赤澤 駿介

試験日	令和 8 年 2 月 18 日			
試料	種類	並砂利(40~20)	最大寸法	40 mm
	産地	九頭竜川水系 坂井市丸岡町		
	採取日	令和 8 年 2 月 13 日		
	採取場所	株式会社 羽崎組 森田工場		
ふるい分け方法	手動	ふるい分け前の質量	8428	
ふるいの呼び寸法 (mm)	連続する各ふるい の間にとどまる 試料の質量 (g)	連続する各ふるい の間にとどまる 試料の質量分率 (%)	各ふるいに とどまる質量分率 (%)	各ふるいを 通過する質量分率 (%)
50	0	0	0	100
40	0	0	0	100
(30)	1084	13	13	87
(25)	3458	41	54	46
20	3814	45	99	1
(15)	61	1	100	0
(13)	0	0	100	0
10	0	0	100	0
5	0	0	100	0
2.5	0	0	100	0
受け皿	6	0	100	0
合計	8423	100	—	—
試験前後の質量差 (%)	0.06	粗粒率	7.99	

粒度曲線図



試験規格 JIS A 1103

骨材の微粒分量試験 (粗骨材)

試験担当者： 赤澤 駿介

粗 骨 材			
試 験 日		令和 8 年 2 月 17 日	
試 料	種 類	並砂利(40~20)	
	産 地	九頭竜川水系 坂井市丸岡町	
	採 取 日	令和 8 年 2 月 13 日	
	採取場所	株式会社 羽崎組 森田工場	
試 験 回 数		1	2
洗う前の試料の乾燥質量 (g)	m_1	4232.4	4274.4
洗った後の試料の乾燥質量 (g)	m_2	4223.6	4265.1
骨材の 微粒分量 = $\frac{m_1 - m_2}{m_1} \times 100$ (%)	A	0.2	0.2
2回の試験の平均値 (%)	\bar{A}	0.2	
平均値からの差 (規格値:0.2%以下)		0.0	

試験規格 JIS A 1104

骨材の単位容積質量及び実積率試験

試験担当者： 赤澤 駿介

試験日			令和 8 年 3 月 31 日	
試料	種類	並砂利(40~20)		
	産地	九頭竜川水系 坂井市丸岡町		
	採取日	令和 8 年 2 月 13 日		
	採取場所	株式会社 羽崎組 森田工場		
試験回数			1	2
単位容積質量	容器の質量 (kg)	(1)	6.700	6.700
	容器の容積 (l)	V	9.953	9.953
	(容器+試料)の質量 (kg)	(2)	23.549	23.561
	試料の質量 = (2)-(1) (kg)	m_1	16.849	16.861
	単位容積質量 = $\frac{m_1}{V}$ (kg/l)	T	1.69	1.69
	2回の試験の平均値 (kg/l)	\bar{T}	1.69	
	平均値からの差 (規格値:0.01kg/l以下)		0.00	
実積率	試料の絶乾密度 (g/cm ³)	d_D	2.59	
	実積率 = $\frac{\bar{T}}{d_D} \times 100$ (%)	G	65.3	

試験規格 JIS A 1110

粗骨材の密度及び吸水率試験

試験担当者： 赤澤 駿介

試験日		令和 8 年 3 月 5 日		
試料	種類	並砂利(40~20)		
	産地	九頭竜川水系 坂井市丸岡町		
	採取日	令和 8 年 2 月 13 日		
	採取場所	株式会社 羽崎組 森田工場		
試験回数		1	2	
表乾密度	表乾状態の試料の質量 (g)	m_1	4164.8	4382.2
	試料とかごの水中の見掛けの質量 (g)	m_2	2980.7	3115.7
	金網かごの水中質量 (g)	m_3	398.3	398.3
	試験温度における水の密度 (g/cm ³)	ρ_w	試験水の温度 20 °C 0.9982	
	表乾密度 = $\frac{m_1 \times \rho_w}{m_1 - (m_2 - m_3)}$ (g/cm ³)	D_s	2.63	2.63
	2回の試験の平均値 (g/cm ³)	\bar{D}_s	2.63	
	平均値からの差 (規格値:0.01g/cm ³ 以下)		0.00	
絶乾密度	絶乾状態の試料の質量 (g)	m_4	4107.3	4321.1
	絶乾密度 = $\frac{m_4 \times \rho_w}{m_1 - (m_2 - m_3)}$ (g/cm ³)	D_d	2.59	2.59
	2回の試験の平均値 (g/cm ³)	\bar{D}_d	2.59	
	平均値からの差 (規格値:0.01g/cm ³ 以下)		0.00	
吸水率	吸水率 = $\frac{m_1 - m_4}{m_4} \times 100$ (%)	Q	1.40	1.41
	2回の試験の平均値 (%)	\bar{Q}	1.41	
	平均値からの差 (規格値:0.03%以下)		0.01	

温度 (°C)	密度 (g/cm ³)	温度 (°C)	密度 (g/cm ³)	温度 (°C)	密度 (g/cm ³)
15	0.9991	19	0.9984	23	0.9975
16	0.9989	20	0.9982	24	0.9973
17	0.9988	21	0.9980	25	0.9970
18	0.9986	22	0.9978	—	—

試験規格 JIS A 1121

ロサンゼルス試験機による粗骨材のすりへり試験

試験担当者： 赤澤 駿介

試験日		令和 8 年 2 月 20 日					
試料	種類	並砂利(40~20)					
	産地	九頭竜川水系 坂井市丸岡町					
	採取日	令和 8 年 2 月 13 日					
	採取場所	株式会社 羽崎組 森田工場					
ふるいの呼び寸法		ふるい分け試験		粒度区分	球の数	回転数	試験前の 各群の質量 (g)
通る ふるい	とどまる ふるい	各群にとどまるもの					
(mm)	(mm)	質量 (g)	質量百分率 (%)	A~G	6~12	500または1000	m ₁
2.5	—	6	0				
5	2.5	0	0				
10	5	0	0				
15	10	0	0				
20	15	61	1				
25	20	3814	45				5002
40	25	4542	54				5003
50	40	0	0				
60	50	—	—				
80	60	—	—				
合計		8423	100	G	12	1000	10005
試験後1.7mmふるいに残った試料の質量		(g)	m ₂	8639			
すりへり損失質量		m ₁ - m ₂	(g)	1366			
すりへり減量		$= \frac{m_1 - m_2}{m_1} \times 100$		(%) 13.7			

試験規格 JIS A 1122

硫酸ナトリウムによる骨材の安定性試験（粗骨材）

試験担当者： 赤澤 駿介

粗 骨 材							
試 験 日		令和 8 年 3 月 10 日					
試 料	種 類		並砂利(40~20)				
	産 地		九頭竜川水系 坂井市丸岡町				
	採 取 日		令和 8 年 2 月 13 日				
	採 取 場 所		株式会社 羽崎組 森田工場				
ふるいの呼び寸法		ふるい分け試験		試験前の 各群の質量 (g) m ₁	試験後の 各群の質量 (g) m ₂	各群の損失 質量分率 $(1 - \frac{m_2}{m_1}) \times 100$ (%) P ₁	骨材の損失 質量分率 $\frac{① \times P_1}{100}$ (%)
通る ふるい	とどまる ふるい	各群にとどまるもの					
(mm)	(mm)	質量 (g)	①質量分率 (%)				
10	5	0	0	—	—	—	—
15	10	0	0	—	—	—	—
20	15	61	1	—	—	2.0	0.0
25	20	3814	45	1007	987	2.0	0.9
40	25	4542	54	1509	1487	1.5	0.8
60	40	0	0	—	—	—	—
合 計		8417	100	—	—	—	1.7

注) ①の質量分率が全質量の5%に満たない群のものについては試験をしないが、その群の前後における損失質量分率の平均値をもって その群の値とする。前後の群における試験値のいずれかが欠けているときは、欠けていないほうの群の損失質量百分率をとる。

試験規格 JIS A 1137

骨材中に含まれる粘土塊量の試験

試験担当者： 赤澤 駿介

粗 骨 材			
試 験 日		令和 8 年 2 月 25 日	
試 料	種 類	並砂利(40~20)	
	産 地	九頭竜川水系 坂井市丸岡町	
	採 取 日	令和 8 年 2 月 13 日	
	採 取 場 所	株式会社 羽崎組 森田工場	
試験前の試料の乾燥質量	(g)	m _{D1}	4225
試験後の試料の乾燥質量	(g)	m _{D2}	4225
粘土塊量 = $\frac{m_{D1} - m_{D2}}{m_{D1}} \times 100$	(%)	C	0.00

注1) 試験回数は、附属書Bによる。

